

弓達 秀樹 議員

(一問一答方式)



- ①お遍路文化継承と別格札所
- ②コロナ禍後の事業者支援
- ③うかい観光と肱川の河道

お遍路文化継承と別格札所について

問 遍路道の世界遺産登録への取組についてどのような考えをもっているか。また、番外霊場の中でも随一と評される十夜ヶ橋を通じてお遍路文化を学び、観光まちづくりをさらに深める考えはないか。

答 四国遍路は長い歴史を超えて地域と共存し継承されてきた世界に誇る生きた文化遺産であると認識をしており、現在、四国が一体となって遍路文化の保存継承を目指すことを目的とし設立されている四国遍路世界遺産登録推進協議会にも参加をしています。

本市の取組としては、令和元年度から遍路道を国の史跡に指定するための調査事業を実施し、令和5年3月20日には九州から遍路が通行した八幡浜街道夜昼峠越えが国の史跡に指定されました。

さらに、第43番札所、西予市の明石寺と第44番札所、久万高原町の大宝寺を結ぶ遍路道である、伊予遍路道、大寶寺道においても、国の史跡指定を目指した手続を行っているところです。

観光まちづくりについては、昨年から一般社団法人四国ツーリズム創造機構をはじめとした民間事業者で四国遍路を体験型、滞在型観光コンテンツとした企画・開発に取り組みされており、本市としても、四国遍路文化を受け継ぎ、観光としての価値も高めていくことが必要であると考えています。

コロナ禍後の事業者支援について

問 コロナ禍では、消費喚起策としてプレミアム付大洲市事業者応援チケットによる幅広い事業者への支援を定期的に行ったが、コロナ後の事業者支援策はどう考えているか。

答 プレミアム付大洲市事業者応援チケット事業については、商工会議所と商工会の連携により実施していただき、令和2年度の飲食店等応援チケット事

業をはじめ、令和3年度に2回、令和4年度に2回、合計5回の事業者支援・消費喚起の事業として取り組みました。

昨年11月から今年2月中旬までの使用期間で実施した第5回目の本事業アンケート結果では、回答のあった取扱店舗253店舗中、とてもよかったが129店舗、よかったが104店舗、合わせて92.1%の店舗で好評いただいています。

利用者からも、今後も同じような事業の実施を希望された方が、回答のあった214人中208人、97.2%となっています。それ以前のアンケート結果でも同様に、取扱店・利用者の双方ともに高い評価をいただいています。

さらに、昨年7月には、川上商工会から地域の経済を守っていくためにも応援チケット事業を続けてほしいとの意見もあり、今年度も、エネルギー、食料品価格等の物価高騰の影響を受けている生活者や事業者の消費を支援する応援チケット事業を含め、効果的な支援を検討していきたいと考えています。

うかい観光と肱川の河道について

問 うかいコースにおける河道に堆積した土砂を浚^{しゅんせつ}して整備してほしいとの声も聞く。今後の安定したうかい運航を可能とするためにも河道の管理は必要と思うがどうか。

答 例年、観光協会がうかいシーズンを前にうかいコースの清掃や河道の状況などの確認を行っていますが、現在、観光協会から場所によっては極端な浅瀬の形成によって船底を擦るなど、屋形船の安全な運行に支障を及ぼしかねない状況になっていると相談を受けています。このことから、国土交通省や愛媛県、肱川漁業協同組合等の関係機関と調整しながら、うかいの実施主体である観光協会が必要に応じて河道の浚^{しゅんせつ}や掘削が行えるよう支援する必要があります。

また、河川管理者の国・県からは、流下阻害となるような堆積については維持管理として対応すると伺っていますので、今後、出水後の河道の状況を見ながら必要に応じた対策・措置を取っていただけるよう要望していきたいと考えています。